



# つなかり



## 南予地区愛護班活動研究集会「青少年健全育成の集い」 ～地域の教育で未来を変える～

6月29日(土)に大洲市総合福祉センターで、南予地区愛護班活動研究集会「青少年健全育成の集い」が開催されました。

### 情報提供

県社会教育課から愛護班の経緯、青少年教育の現状と課題、県教育基本方針と愛護班活動目標の共通点について情報提供がありました。県教育基本方針の一番初めに掲げられている「未来を切り拓くたくましい子どもたちの育成」は愛護班の活動目標に一致していることを再認識しました。

また、現在、家庭を取り巻く環境が大きく変化しており、子育てに悩みや不安を持つ保護者も多く、地域全体で家庭教育を支える体制を構築することが必要となっていることも説明されました。このことから、県教育委員会は子育て支援に関するプログラム「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集」を作成したこと、また、そのプログラムの活用方法についての説明もありました。



### 講演

【演題】「感動体験が、子どもの生きる力を育てる」

【講師】伊予鉄総合企画株式会社

えひめこどもの城 園長 敷村 一元 氏

感動体験が、子どもの生きる力を育てることへつながることについて、統計データをもとに説明されました。子どもたちにかかわる大人として、五感をひらく体験活動を考えることや笑顔が生まれるシチュエーションを作ること、先入観を押し付けず一緒になって驚いたり、喜んだりすることなど多くの大切なポイントについて具体例を示しながらお話いただきました。参加者からは「体験活動の大切さ、笑顔の効果など、これからの活動の目標が明確となりました。」との感想がありました。



### <参加者の声>

子どもたちの笑顔のために、今後の取組にたくさんの体験を取り入れていきたいです。

体験活動の減少が、異性の意識にもつながっているのではないかと考えたこととても興味深いと思いました。

## 事例提供

【事例提供者】 大洲市田口ふれあい子ども食堂  
運営委員会 代表 武田 麗子 氏

子ども食堂をきっかけに、地域の農家や企業、ボランティアとつながり、これらの地域資源を生かしながら活動を広げ、持続可能な体制を作っていた取組についてお話しいただきました。

参加者からは、「子ども食堂について多くのことを知ることができました。これから、自分たちで子ども食堂を作り上げていきたいです。」という感想がありました。子どもたちに様々な体験活動を提供するために、いろいろな人とつながりながら活動される事例は多くの参加者にとって今後の参考となるものでした。

### <参加者の声>

地域の力がとても素晴らしいです。続けていくことで輪ができて素敵です。

子ども食堂や三世代交流を体験した子どもたちが、次の世代の子どもたちにつながっていくのが素晴らしいと思います。



## 情報交換

グループ協議は、9グループに分かれ、「地域資源×体験活動」のテーマに沿って情報交換をしました。

様々な地域の方が協議できるようにグループ分けをしたため、様々な地域の取組を伺うことができよかったですという感想が多く挙がりました。同時に、スタッフの高齢化等、人材不足については各地域共通の課題として挙げられました。

青少年の健全育成に関わる様々な立場の関係者が活発な話し合いを行い、子どもたちの自然体験活動の充実について思いを共有することができました。



### <参加者の声>

みなさんの取組を情報交換できて、今後の参考になりました。

行政担当者、学校関係者、公民館関係者など、いろいろな立場の意見が聞けて良かったです。他市町の取組や課題等について話し合うことができ、とても有意義な時間になりました。